



# 九中だより

令和5年3月24日  
府中市立府中第九中学校  
校長 吉田 修  
No.12

## ～卒業式 式辞から～

校長 吉田 修

### 保護者、地域の皆さまへ

令和4年度も府中第九中学校の教育活動をご支援いただき感謝申し上げます。今年度も残り少なくなりました。学校を取り巻く環境も変化する中で、皆様のご支援を頂きながら学校として生徒の指導に当たることができたと思っております。

さて、20日に第46回卒業式を無事終えることができました。162名の卒業生が九中を巣立っていきました。今回は、卒業式で話した式辞を一部抜粋し、紙面で紹介したいと思います。

### 卒業式 式辞から

皆さんが中学を卒業するにあたって「どのような人々と出会い、どういう人たちの生き方や心の在り方を目指してほしいか」について話したいと思います。

小説家である遠藤周作の短編に『ヴェロニカ』という小説があります。その小説の中では、第二次世界大戦中の南フランスでの話が紹介されています。フランスのある山村に住む女性が自分の家の納屋で、占領軍として来た敵国ドイツ兵の若者が、怪我をして血を流しながら隠れているのを発見しました。このドイツ人の若い兵士を助けたらドイツ兵に協力した者として処罰されるかもしれない。しかし、どうしても怪我に苦しむ若者を見捨てることができなくて、この女性は敵国の兵士を介抱します。ドイツ兵の苦しみに同情し共感する思いを、作者は「激しい憐憫(れんびん)の情」と表現しています。この傷ついた敵兵は結局見つかって村の青年たちに殺され、それだけでなく青年たちはこの女性もフランスを裏切った者として、ののしりながら殺し古井戸の中に投げ込んでしまいます。のちに村の人々は自分たちの過ちに気づいて悔い、この女性の行為を称え「あなたはわれわれよりほんとうのフランス人だった。人間だった……。」と文字を刻んだ像を村の入り口に立てているということです。

小説の中では、人間が集団になると残酷で凶暴な行動に向かってしまう群集心理の怖さと人間の弱さを描きながら、そうした中でも人間としての良心と憐憫(れんびん)の情を失わない人がいることを語ります。同時に小説ではこの話と関連させて、凶暴な興奮に駆り立てられた群集が、残酷なむち打ちに傷つき十字架を肩に背負って歩くイエスに罵声を浴びせる中で、あえぎ倒れるイエスに駆け寄って汗と血にまみれた彼の顔を布でぬぐった女性がいたことを伝承として語っています。その女性の名前が小説の題名である『ヴェロニカ』です。

作者は次のように述べます。「ヴェロニカの小さな存在は、社会や群集がどんなに墮落しても、人間の中にはなお信頼できる優しい人がいることを僕たちに教えてくれるようです。」

命をかけて反戦を訴える勇気や、何よりも戦争で苦しむ人たちのことを思いやり自分の良心の声に従おうとする女性の思いは、ドイツ兵を同じ人間として助けたフランスの女性やイエスを助けたヴェロニカとつながるものではないかと思います。国家や民族を超えて傷つき苦しむ人々に憐憫(れんびん)の情を抱き、人間の尊厳や命の尊さを何よりも大切にしている人間への愛がその根底にはあるのでしょうか。

こういう人がいるからまだ人間には望みをかけられると思える人物は、小説の中だけでなく私たちが見聞きし出会う人たちの中にもいるはずで、コロナウイルスが収まりきらない中でヨーロッパに戦争が起きて、先の見通せない暗い思いが世界を覆いそうなこの時代だからこそ、希望を見出す目をもってほしいと思います。できれば身近なつながりの中でも、希望となる人たちと出会う機会をもってほしいですし、自分自身がそういう人になることを目指してくれたらよいと思います。

## 合唱コンクールを終えて

音楽科 木村 有紀

3月10日(金)に府中の森芸術劇場どりーむホールにて合唱コンクールが開催されました。今年度は多くの保護者の方にご来場いただき、温かい拍手に包まれながら、全校での開催となりました。学校ではなかなか味わうことができないホールならではの緊張感や響きを体感することができたと思います。当日の歌声はこれまでの取り組みを表す素晴らしいものとなりました。

今年度から新しい取り組みとして、縦割り練習会を行いました。各学年から一クラスずつ組合せをくじで決めて、合唱曲を発表したり、一緒に歌ったりしました。観客がいる中で演奏する機会は多くありません。緊張の中の発表は、時にハプニングもありましたが、どのクラスも今できる精一杯の演奏をしようとしていました。他学年の歌を聴いて、一層練習に身が入ったクラスが多く、コンクール当日の素晴らしい演奏につながる練習会となりました。

生徒の事後アンケートには、「合唱コンを楽しく終わって次はもっと頑張ろうと思った。」「全員が同じ目標に向かって頑張れて嬉しい。」「みんなと練習していくうちに歌うことは楽しいことだと気づいた。」と前向きな声が多くあがりました。来年度に向け、“歌う九中”を生徒とともに目指し、日々の授業を頑張っていきたいと思います。

## 令和5年度 4月の予定

- 6日(木) 着任式・始業式
- 7日(金) 入学式 (2・3年生は休業日)
- 11日(火) 給食始
- 13日(木) 身体計測



今年度、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。来年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。